

令和元年度 第3回 産業医科大学倫理委員会議事抄録

1 日 時 令和 元年6月5日(水) 13:30~14:15

2 場 所 1609会議室

3 出席者(12名)

学内:藤野(昭)、中山、齋藤、原田、足立、阿南、庄司、藤木、樫本

学外:安元、田中、小川

欠席者(4名)

学内:矢寺、長野、藤野(善)

学外:櫻井

4 報告事項等

(1) 令和元年度第2回産業医科大学倫理委員会議事抄録(案)について

藤野(昭)委員長から、資料に基づき提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

(2) 令和元年度第2回産業医科大学倫理委員会専門委員会について

齋藤委員長から、審査結果について、資料に基づき、次のとおり報告があった。

1) 平成31年度第1回産業医科大学倫理委員会専門委員会議事抄録(案)が、原案どおり承認された。

2) 研究進捗状況報告4件については、1件は「承認」、3件は指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」することとした。

(3) 令和元年度第2回迅速審査委員会について

中山委員長から、3件の審査結果について、委員の指摘事項等に関する研究実施責任者の対応及び修正内容について委員長が確認したので、承認することとした、その内容は資料のとおりであるとの報告があった。

5 審議事項等

(1) 倫理審査研究計画取り下げ(特定臨床研究事由)について

藤野(昭)委員長から、資料に基づき提案があり、審議の結果、承認された。

H25-156 実施責任者:医学部 第2外科学 教授 田中文啓

研究課題名:縦隔リンパ節転移を有するⅢA期非扁平上皮非小細胞肺癌に対する術前導入療法としてのシスプラチン+ペメトレキセド+ベバシズマブ併用療法もしくは、シスプラチン+ペメトレキセド+同時胸部放射線照射(45Gy)後の手術のランダム化比較第Ⅱ相試験

H25-186 実施責任者:医学部 第2外科学 教授 田中文啓

研究課題名:縦隔リンパ節転移を有するⅢA期肺原発扁平上皮癌に対する術前導入療法としてのシスプラチン+TS-1+同時胸部放射線照射(45Gy)後の手術の第Ⅱ相試験

- H26-112 実施責任者：医学部 第2外科学 教授 田中文啓
 研究課題名：肺尖部胸壁浸潤癌（Superior sulcus tumor：SST）に対する術前
 導入療法としてのシスプラチン（CDDP）＋ティーエスワン（TS-1）
 ＋同時胸部放射線照射（66Gy）後の手術の有効性検証試験
- H29-042 実施責任者：医学部 第2外科学 教授 田中文啓
 研究課題名：縦隔リンパ節転移を有するⅢA期EGFR遺伝子変異陽性非小細胞肺
 癌に対するエルロチニブによる術前導入療法後の外科的切除の
 第Ⅱ相試験

6 研究倫理審査

(1) 新規申請

- ① 実施責任者：産業保健学部 成人・老年看護学 准教授 長 聡子
 研究課題名：認知症高齢者グループホームにおける看護師の実践状況の検討
 審査要旨：事前審査の指摘事項に加え、以下の指摘事項があり、審査の結果、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。
 なお、本件の審議及び議決にあたっては、研究実施分担者である阿南委員は退席した。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 1) 対象者の選定方法（募集方法、選択基準・除外基準・中止基準等）

(1) 募集方法

募集の方法がわかるよう順序だてて記述する。

12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の取扱い 2) 廃棄方法
 誤植がある。4行目 細断処理 → 裁断処理

12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の取扱い 3) 二次利用の有無
 1行目『別の研究に』は、研究の内容がわかるよう具体的に記述する。

- ② 実施責任者：産業保健学部 成人・老年看護学 准教授 長 聡子
 研究課題名：一般病棟の看護師を対象としたがん患者の家族ケアに関する学習支援方法
 の開発

審査要旨：事前審査の指摘事項に加え、以下の指摘事項があり、審査の結果、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

なお、本件の審議及び議決にあたっては、研究実施分担者である阿南委員は退席した。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 1) 対象者の選定方法（募集方法、選択基準・除外基準・中止基準等）

(1) 募集方法

産業医科大学病院若松病院の看護師を対象とするので、1行目『看護師』の前に『産業医科大学若松病院の』を追加する。

5. 実施計画 5) 方法 b) 研究の具体的方法

3行目『参加人数に応じて運営する』は、どのように運営するのか具体的に記述する。

12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の取扱い 2) 廃棄方法
 誤植がある。3行目 細断処理 → 裁断処理

12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の取扱い 3) 二次利用の有無

1行目『別の研究に』は、研究の内容がわかるよう具体的に記述する。

参加者の方への説明文書

5. 研究の方法 ④学習会の流れ 第2～3回学習会（理論とMARの特徴の理解）

1行目『MAR』が初出なので、説明が必要ではないか。

③ 実施責任者： 産業保健学部 基礎看護学 講師 児玉裕美

研究課題名： 看護師の職業性ストレス軽減を目的としたリラクゼーション法の生理学的評価

審査要旨：事前審査の指摘事項に加え、以下の指摘事項があり、審査の結果、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 5) 方法 b) 研究の具体的方法 研究②-3

『生理学的指標の探索および介入の方法を確立する』とあるが、研究②で確立するのであれば、本倫理審査研究計画書では、研究②までの内容での申請となるのではないか。

参加者の方への説明文書（研究①用）

4. 研究の背景・目的・意義

本研究が多施設共同研究であることの文章を追加する。

6. 研究対象者として選定された理由

3行目『この度、施設長または看護部長から研究参加の同意をいただきましたので、お願いします』は高圧的な印象を受けるので、『適切な対象者として推薦されましたので』を追加するなど変更が必要である。

④ 実施責任者： 産業保健学部 広域・発達看護学 講師 児玉豊彦

研究課題名： 自閉症スペクトラム症を同胞にもつきょうだいの心理状態の変化についての質的研究 一学齢期～青年期に焦点をあてて

審査要旨：実施責任者から、都合により取り下げたいとの申し出があったとの説明があり、了承された。

⑤ 実施責任者： 産業保健学部 広域・発達看護学 講師 児玉豊彦

研究課題名： アルコール依存症の親を持つ子どもが抱える問題と必要な支援についての質的研究

審査要旨：実施責任者から、都合により取り下げたいとの申し出があったとの説明があり、了承された。

⑥ 実施責任者： 産業保健学部 基礎看護学 助教 小山里英

研究課題名： 多施設の中小規模病院に勤務する実施指導者への複数回の共同リフレクションを導入した教育プログラムの開発と評価

審査要旨：審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

4. 実施概要 1) 研究の背景

簡潔に半ページくらいの量にまとめる。3行目『迫る2025年問題を見据え』については説明を追加する。

5. 実施計画 5) 方法 b) 研究の具体的方法 【データ収集方法】 ③各々実地指導

者の会」で語られた内容

本研究におけるファシリテーターの役割は重要であり、ファシリテーターのみを動画撮影する目的についての説明を追加する。説明文書も同様である。

8. 対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク 3) 対象者の負担及び予測されるリスクを最小化する対策

参加者への説明文書に書かれている内容と齟齬があるのではないか。

12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の取扱い 2) 廃棄方法

対応表も廃棄することを追記する。2行目『(連続匿名化とし個人の特定は不可能)』は削除する。

参加者の方への説明文書

4. 研究の背景・目的・意義 2) 研究目的

1行目『本研究は博士課程の研究目的である』は削除し、本研究が大学院博士課程の研究であることを「24. その他」に記述する。

5. 研究の方法 2) 実地指導者の会

各回の実施時間(14:00~15:30)が倫理審査研究計画書記載の時間数(100分)と齟齬がある。

7. 研究対象者に生じる利益、負担および予想されるリスク

4~5行目『リフレクションが苦痛と感じた場合にはすぐに中止し、研究参加者としてデータを削除します』は、言葉を追加してわかりやすく説明する。

12. 個人情報の取り扱い

テープ起こしを業務委託するので、その際の取り扱いについて記述する。

同意書、同意撤回書

本文の研究課題名に誤植がある。

再提出に際し、研究実施責任者から、本研究は日本赤十字九州国際看護大学大学院 看護学研究科 共同看護学専攻 博士課程において実施する研究であることから、同大学の倫理審査委員会において承認された書類により研究を行いたいとの申し出があり、本学倫理委員会では、倫理審査研究計画書のみの審査を行うことを条件に、本件について承認することとした。

(2) 新規申請 (迅速審査)

① 実施責任者: 医学部 公衆衛生学 助教 劉 寧

研究課題名: 在日外国人の健康状態に関する一考察

審査要旨: 審査の結果、「承認」とする。

② 実施責任者: 産業保健学部 広域・発達看護学 講師 児玉豊彦

研究課題名: 大学病院の急性期病棟の患者に対する抑うつ状態のアセスメントとケアに関する実態調査

審査要旨: 審査の結果、「承認」とする。

③ 実施責任者: 産業医科大学病院 臨床検査・輸血部 部長、診療教授 竹内正明

研究課題名: 2次元心エコー及び3次元エコーによる左房長軸方向ストレイン値の比較と、その相違の要因に関する検討

審査要旨: 審査の結果、「承認」とする。

(3) 変更申請

① 実施責任者: 産業生態科学研究所 精神保健学 教授 廣 尚典

研究課題名: 小規模事業場向けメンタルヘルス対策支援ツールの改訂に関するインタ

ーネット調査

審査要旨：審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

7. 実施事項等における倫理的配慮について 2) 対象者のプライバシー確保に関する対策（個人情報取り扱い方法）

同意撤回があった場合の対応についての記述を追加する。「12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の保管・廃棄方法」についても同様である。

- ② 実施責任者：産業生態科学研究所 精神保健学 教授 廣 尚典
研究課題名：小規模事業場経営者向けメンタルヘルス対策啓発資料の作成－専門職を対象としたメンタルヘルス対策に関する実態調査
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ③ 実施責任者：産業生態科学研究所 精神保健学 教授 廣 尚典
研究課題名：職業性ストレス要因と生活習慣、心理的ストレス反応との関連：縦断データによる検討
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ④ 実施責任者：産業生態科学研究所 精神保健学 教授 廣 尚典
研究課題名：東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究「Nuclear Emergency Workers (NEW) Study」：心理的影響調査
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ⑤ 実施責任者：産業保健学部 作業環境計測制御学 助教 山本 忍
研究課題名：連想法による「産業衛生技術」の概念獲得のための授業評価
審査要旨：審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査変更申請書

2 変更理由

誤植がある。2行目 困難でり → 困難であり

参加者の方への説明文書

8. 研究が実施又は継続されることに同意した場合であっても随時これを撤回できることについて

2～3行『また同意の撤回が出来ない旨を学生に説明します』という表現は、参加者（学生）向けの説明文書の表現としては正しくないので、修正する。

- ⑥ 実施責任者：産業保健学部 作業環境計測制御学 助教 山本 忍
研究課題名：産業医科大学環境マネジメント学科の作業環境測定士・衛生管理者育成のための学部教育の効果と課題
審査要旨：審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。
なお、本件の審議及び議決にあたっては、研究実施分担者である庄司委員は退席した。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の取扱い 2) 廃棄方法

利用の拒否の申出があった場合の情報の取扱いについての記述を追加する。依頼文書についても同様である。

- ⑦ 実施責任者： 医学部 精神医学 准教授 新開隆弘
研究課題名： 就労中双極性障害患者の運転技能検討
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑧ 実施責任者： 産業医科大学病院 呼吸器・胸部外科 助教 森 将鷹
研究課題名： 神経内分泌肺腫瘍切除症例における予後規定因子の解析
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑨ 実施責任者： 医学部 第2外科学 教授 田中文啓
研究課題名： 全国肺癌登録調査：2010年肺癌手術症例に対する登録研究
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。
[指摘事項]
倫理審査研究計画書
12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の保管・廃棄方法
利用拒否申出の際の情報の取扱いに関する記述を追加する。
- ⑩ 実施責任者： 産業医科大学病院 呼吸器・胸部外科 助教 森 将鷹
研究課題名： 胸腺上皮性腫瘍の前方視的データベース研究
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。
[指摘事項]
倫理審査研究計画書
12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の取扱い 2) 廃棄方法
同意撤回の際の情報の取扱いに関する記述を追加する。
- ⑪ 実施責任者： 産業生態科学研究所 産業保健管理学 教授 堀江正知
研究課題名： 水冷式冷却ベストによる身体負荷軽減の効果
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑫ 実施責任者： 産業医科大学病院 呼吸器・胸部外科 助教 平良彰浩
研究課題名： 免疫チェックポイント阻害剤の有害事象および効果予測因子の解明
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。
[指摘事項]
倫理審査研究計画書
12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の取扱い 2) 廃棄方法
同意の撤回の申出があった場合の対応は記述されているが、同意撤回書に意思確認の記述があるので、『対象者の意思を確認した上、その時点までに得られたデータを、同様の措置にて廃棄する』に修正する。

再提出に際し、倫理審査研究計画書「14. 研究費の資金源と利益相反について」1行目に『及び文部科学省科学研究費補助金』を追記、参加者の方（患者さん）及び代諾者の方への説明文書の同等の項目「14. 研究費の資金源、研究機関の研究に係る利益相反及び個人の収益等、研究者等の研究に係る利益相反に関する状況」1行目に『第2外科学講座の研究費』が追加されたことを委員長

が確認することを条件に、本件については、承認することとした。

- ⑬ 実施責任者： 医学部 呼吸器内科学 准教授 川波敏則
研究課題名： 慢性肺アスペルギルス症の気道病変に対する一般細菌の役割の検討
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑭ 実施責任者： 医学部 呼吸器内科学 准教授 川波敏則
研究課題名： 網羅的な細菌叢解析手法を用いた肺炎の起炎菌調査
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
なお、本件の審議及び議決にあたっては、研究実施分担者である齋藤委員は退席した。
- ⑮ 実施責任者： 医学部 呼吸器内科学 助教 川端宏樹
研究課題名： 特発性肺線維症に対するニンテダニブ効果予測バイオマーカーの前向き解析
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑯ 実施責任者： 医学部 呼吸器内科学 教授 矢寺和博
研究課題名： 肺の生活習慣病の克服を目指した医療ネットワークの構築 ―喫煙関連呼吸器難病に対する前向きコホート研究―
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 5) 方法 b) 研究の具体的方法

項目番号に誤植がある。

3) 追跡調査（登録日より1年ごとに行う） → (3) 追跡調査（登録日より1年ごとに行う）

(4) <スタディカレンダー> → <スタディカレンダー>

7 その他

(1) 研究終了報告 10 件、中止報告 1 件及び進捗状況報告 39 件が承認された。

<終了報告> 10 件

H24-121 実施責任者： 医学部 第1内科学 准教授 岡田洋右

研究課題名： 経口血糖降下薬の安全性と有効性に関する研究 (J-BRAND Registry)

H26-252 実施責任者： 医学部 第1内科学 教授 田中良哉

研究課題名： IgG4 関連疾患の診断基準並びに治療指針の確立を目指した研究

H28-140 実施責任者： 産業生態科学研究所 放射線健康医学 教授 岡崎龍史

研究課題名： 放射線教育プログラムによる放射線業務従事者の知識向上と不安低下度の定量的解析

H29-028 実施責任者： 医学部 呼吸器内科学 准教授 川波敏則

研究課題名： 細菌叢解析手法を用いた細菌感染関連胸水の原因菌調査および原因菌と臨床的特徴に関する後方視的検討

- H29-076 実施責任者：医学部 第2内科学 学内講師 岩瀧麻衣
研究課題名：全身代謝活性が重症大動脈弁狭窄症の心拍出量に与える影響
- H29-139 実施責任者：医学部 精神医学 教授 吉村玲児
研究課題名：救急センターに搬送された自殺未遂者の自殺企図の再発防止に対する複合的ケース・マネージメントに関する患者登録研究
- H29-237 実施責任者：医学部 第1内科学 准教授 岡田洋右
研究課題名：2型糖尿病患者における心血管リスク因子回避に関するダパグリフロジン VS シタグリプチンの有効性の検討
The study of dapagliflozin versus sitagliptin treatment efficacy on preventing cardiovascular risk factors in type 2DM patients (DIVERSITY-CVR study)
- H29-251 実施責任者：産業生態科学研究所 作業関連疾患予防学 講師 池上和範
研究課題名：作業現場における呼吸用保護具の装着感に関する調査
- H29-280 実施責任者：医学部 第2外科学 助教 篠原伸二
研究課題名：悪性胸膜中皮腫に対する胸膜切除/肺剥皮術に関する治療成績の検討
- H29-281 実施責任者：医学部 第2外科学 助教 篠原伸二
研究課題名：縦隔リンパ節転移を有する原発性非小細胞肺癌に対する導入化学放射線療法後手術と根治的放射線療法後救済手術の比較検討
- <中止報告> 1件
- H28-157 実施責任者：医学部 分子生物学 講師 土井知光
研究課題名：肺癌における免疫チェックポイント阻害剤の効果予測因子の検索
- <進捗状況報告> 39件
- 09-118 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 准教授 川波敏則
研究課題名：網羅的な細菌叢解析手法を用いた肺炎の起炎菌調査
- H23-108 実施責任者：産業生態科学研究所 精神保健学 教授 廣 尚典
研究課題名：職業性ストレス要因と生活習慣、心理的ストレス反応との関連：縦断データによる検討
- H23-120 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 教授 矢寺和博
研究課題名：電子顕微鏡を用いた間質性肺炎患者における気管支肺胞洗浄液中の粉じん解析
- H25-124 実施責任者：医学部 第2内科学 教授 尾辻 豊
研究課題名：慢性冠動脈疾患患者におけるイコサペント酸エチルの二次予防効果の検討 (Randomized trial for Evaluation in Secondary Prevention Efficacy of Combination Therapy–Statin and Eicosapentaenoic Acid [RESPECT–EPA])

- H27-032 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 准教授 川波敏則
研究課題名：16S ribosomal RNA 遺伝子を用いた慢性下気道感染症の進行の検討
- H27-094 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 准教授 城戸貴志
研究課題名：気管支肺胞洗浄液を用いた肺リンパ腫の分子生物学的診断方法の確立
- H27-192 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 准教授 城戸貴志
研究課題名：特発性肺線維症に対するニンテダニブ効果予測バイオマーカーの前向き解析
- H27-238 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 教授 矢寺和博
研究課題名：びまん性肺疾患患者における自己抗体の検出および臨床的意義の検討
- H27-244 実施責任者：医学部 第2外科学 教授 田中文啓
研究課題名：病理病期 IB 期非小細胞肺癌完全切除例に対する nab-Paclitaxel/Carboplatin 併用療法の feasibility study
- H28-012 実施責任者：医学部 第2外科学 教授 田中文啓
研究課題名：全国肺癌登録調査：2010 年肺癌手術症例に対する登録研究
- H28-102 実施責任者：医学部 第2外科学 教授 田中文啓
研究課題名：高齢者非小細胞肺癌切除症例の術後補助化学療法に注目した前向き観察研究
- H28-215 実施責任者：医学部 第2内科学 講師 荒木 優
研究課題名：慢性心不全患者におけるエイコサペンタエン酸 (EPA) の有効性の検討
- H29-016 実施責任者：産業生態科学研究所 人間工学 教授 藤木通弘
研究課題名：平衡覚と姿勢制御との前庭電気刺激を用いた評価
- H29-107 実施責任者：医学部 不整脈先端治療学 教授 安部治彦
研究課題名：カテーテルアブレーションを施術した非弁膜症性心房細動症例の抗凝固療法の実態とその予後に関する観察研究 ～RYOUMA Registry～
Real world ablation therapY with anti-coagulants in Management of Atrial fibrillation
- H29-134 実施責任者：医学部 第2外科学 教授 田中文啓
研究課題名：PI3K/AKT/mTOR 経路の遺伝子変異を含む稀な遺伝子異常を有する小細胞肺癌の臨床病理学的、分子生物学的特徴を明らかにするための前向き観察研究 ver. 1.3

- H29-191 実施責任者：医学部 第2外科学 助教 平井文子
研究課題名：SCRUM-Japan 疾患レジストリを活用した新薬承認審査時の治験対照群データ作成のための前向き多施設共同研究 (SCRUM-Japan Registry) ver1.21
- H29-193 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 教授 矢寺和博
研究課題名：特発性間質性肺障害、膠原病合併間質性肺障害における抗MDA5抗体の臨床的意義の解析
- H29-210 実施責任者：医学部 第2外科学 助教 竹中 賢
研究課題名：ALK 陽性肺癌に関するレトロスペクティブ研究
-ALK 陽性肺癌に対するクリゾチニブ後にアレクチニブを投与する治療シーケンスの臨床効果の多施設共同後ろ向き研究-
- H29-218 実施責任者：医学部 第2外科学 講師 市来嘉伸
研究課題名：神経内分泌肺腫瘍切除症例における予後規定因子の解析
- H29-263 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 准教授 川波敏則
研究課題名：第3世代EGFR-TKI (オシメルチニブ) の耐性機序にかかわるバイオマーカー探索に関する研究
- H29-267 実施責任者：産業保健学部 作業環境計測制御学 助教 山本 忍
研究課題名：産業医科大学環境マネジメント学科の作業環境測定士・衛生管理者育成のための学部教育の効果と課題
- H29-268 実施責任者：産業保健学部 作業環境計測制御学 助教 山本 忍
研究課題名：連想法による「産業衛生技術」の概念獲得のための授業評価
- H29-283 実施責任者：産業生態科学研究所 人間工学 教授 藤木通弘
研究課題名：交代制勤務パターンの変更に伴う交代制勤務者の睡眠・疲労の評価、身体に影響を及ぼす因子の検討
- H30-041 実施責任者：医学部 第2外科学 講師 市来嘉伸
研究課題名：胸腺上皮性腫瘍の前方視的データベース研究
- H30-053 実施責任者：産業生態科学研究所 精神保健学 助教 真船浩介
研究課題名：働き方の多様性と精神的健康との関する縦断的研究
- H30-061 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 講師 山崎 啓
研究課題名：肺胞マクロファージのフェノタイプ毎の食能と下気道細菌叢に着目した慢性下気道感染症の病態解明

- H30-067 実施責任者：医学部 第2外科学 講師 市来嘉伸
研究課題名：免疫チェックポイント阻害剤の有害事象および効果予測因子の解明
- H30-074 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 助教 内村圭吾
研究課題名：呼吸器疾患に対する気管支鏡検査の診断率向上に寄与する因子と合併症発症のリスク因子の後方視的検討
- H30-084 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 学内講師 野口真吾
研究課題名：薬剤性肺障害患者におけるバイオマーカーの探索及びその臨床的意義の検討
- H30-085 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 准教授 川波敏則
研究課題名：慢性肺アスペルギルス症の気道病変に対する一般細菌の役割の検討
- H30-117 実施責任者：医学部 精神医学 准教授 新開隆弘
研究課題名：就労中双極性障害患者の運転技能検討
- H30-118 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 准教授 川波敏則
研究課題名：日本呼吸器学会が提唱するACO診断基準に基づくCOPDの特徴に該当する経過観察中または新規の外来患者における喘息とCOPDのオーバーラップに関する前向きコホート研究：ACO Registry
- H30-126 実施責任者：産業保健学部 作業環境計測制御学 助教 山本 忍
研究課題名：N,N-ジメチルアセトアミド (DMAC) の生物学的モニタリング手法の開発
- H30-127 実施責任者：産業生態科学研究所 精神保健学 教授 廣 尚典
研究課題名：小規模事業場向けメンタルヘルス対策支援ツールの改訂に関するインターネット調査
- H30-135 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 講師 山崎 啓
研究課題名：悪性胸膜中皮腫患者および原発性肺癌患者の腫瘍組織・血液・胸水中マイクロRNAの解析
- H30-157 実施責任者：産業生態科学研究所 精神保健学 教授 廣 尚典
研究課題名：小規模事業場経営者向けメンタルヘルス対策啓発資料の作成－専門職を対象としたメンタルヘルス対策に関する実態調査
- H30-160 実施責任者：医学部 産科婦人科学 助教 原田大史
研究課題名：婦人科悪性腫瘍の治療後生存期間に関与する因子の後方視的検討

- H30-167 実施責任者：医学部 産科婦人科学 助教 原田大史
研究課題名：低酸素環境下の無血清培養によるオートファジーを利用した腫瘍細胞の分化転換
- H30-174 実施責任者：産業生態科学研究所 人間工学 教授 藤木通弘
研究課題名：従業員の睡眠衛生改善とパフォーマンス向上のための、睡眠衛生教育による介入効果の検討